

長野市健康増進計画

新・健康ながの21 (H23～H28)

第2次長野市食育推進計画 (H25～H28)

最終評価



シンボルマーク
なっぴい

～次期健康増進計画・食育推進計画
の策定に向けて～



■ 目的及び把握方法

【目的】

計画に掲げた目標(指標)の達成状況を把握、分析し、今後の取組や次期計画に反映するため

【把握方法】

	新・健康ながの21	食育推進計画
① 市民アンケート調査		
調査対象	市内在住 3歳 から 89 歳までの市民	
実施期間	平成27年9月1日～18日	平成27年6月～9月
調査方法	返信用封筒同封による 郵送法(無記名)	同左 及び 学校等回収(無記名)
抽出方法	住民基本台帳(平成27年8月17日現在)から等間隔無作為抽出	
対象者数・回答者数(回収率)	5,000人・2,526人(50.6%)	5,598人・3,159人(56.4%)
② 健診結果等データ収集	国保特定健診・市内協力企業等	同左及び長野市学校保健統計、 高校・短大・大学の身体計測結果
③ 市が実施する各種検診、人口動態統計等の統計データ	—	

■ 指標の達成状況の評価方法

策定時の値と比較し、目標(値)にどの程度達しているか、目標値が数値の場合、下記の式により5段階に分けて評価

$$\text{達成率} = \frac{(\text{直近値}) - (\text{策定時の値})}{(\text{目標値}) - (\text{策定時の値})} \times 100(\%)$$

判定区分	判定基準
◎	ほぼ達成(75.0%以上の達成率)
○	改善傾向(1.1%以上75.0%未満の達成率)
→	横ばい(増減が±1.0%以内)
△	策定時より悪化(−1.1%以下の達成率)
—	評価することが適当ではないもの

長野市健康増進計画

「新・健康ながの21」(H23～H28)

最終評価



シンボルマーク
なっぴい

■ 評価の結果

項目	指標数	評価				
		ほぼ達成 (◎)	改善傾向 (○)	横ばい (→)	悪化傾向 (△)	評価なし (ー)
成果指標	5	0	4	0	1	0
重点施策の指標	65	18	22	1	22	2
取組指標	23	7	10	1	5	0
合計	93	25	36	2	28	2
(割合)		(27%)	(39%)	(2%)	(30%)	(2%)

全93指標の内、ほぼ達成及び改善傾向となった項目は、61指標(66%)に達しました。

■ 成果指標の評価

項目		策定時の値	直近値	目標値	評価
健康寿命を延ばす(歳) (人口・介護認定数・死亡数から算出)	男性	76.9 (H22年平均寿命81.1)	77.9	78.9	○
	女性	79.9 (H22年平均寿命87.2)	80.3	81.9	○
心疾患、脳血管疾患の死亡率を減らす(人口10万対)	男性	277.2	271.1	207.9	○
	女性	293.4	306.5	220.1	△
「健康づくりを支援する環境が整っている」と思う人を増やす(%)		54.2	60.4	70以上	○

健康寿命は、男性は1.0年、女性は0.4年延伸しました。

■ 主な評価項目（重点施策の指標）

【重点1】生活習慣病予防対策

指 標		策定時の値	直近値	目標値	評価
肥満の割合（％） （BMI 25.0以上）	男性 （25～39歳）	22.1	21.7	15.0以下	○
	男性 （40～64歳）	31.4	32.2		△
HbA1c5.6％ （NGSP値）以上の 割合（％）	男性 （40～64歳）	70.4	59.8	52.8以下	○
	女性 （40～64歳）	75.2	62.9	56.4以下	○
一日の 平均歩数（歩）	男性 （25～39歳）	8,485	8,375	策定時の 値から 1,000歩 増加	△
	女性 （25～39歳）	7,095	7,039		△
	男性 （40～64歳）	7,904	7,550		△
	女性 （40～64歳）	8,443	7,417		△

男性（40歳～64歳）の肥満割合が増加し、25歳から64歳までの青年期・壮年期層の一日の平均歩数が減少しています。

【重点2】がん対策

指 標		策定時の値	直近値	目標値	評価
がん検診を受診している人の割合(%) (職場検診、人間ドック等含む)	胃がん	40.7	43.6	50.0	○
	肺がん	35.8	50.3		◎
	大腸がん	38.2	50.7		◎
	乳がん	33.2	32.2		△
	子宮がん	32.2	32.0		△
がん精密検査受診率(%) (長野市実施のがん検診のみ)	胃がん	88.1	93.4	100.0	○
	肺がん	93.3	93.6		○
	大腸がん	75.4	70.0		△
	乳がん	76.0	89.3		○
	子宮がん	66.7	74.2		○

肺がん及び大腸がんの受診率は50%を超え、目標値を達成しました。乳がん及び子宮がんの受診率は、他のがん検診と比較し、低い状況にあります。

【重点3】こころの健康づくり対策

指 標	策定時の値	直近値	目標値	評価
自殺率(人口10万対)	19.9	19.9	17.9以下	→
ストレスが過度であると感じる人の割合(%)	12.3	16.7	10.0以下	△
睡眠が十分に取れている人の割合(%)	72.9	75.0	80.0以上	○
自殺予防ゲートキーパー研修参加者延べ人数	422	6,984	4,149人 より増	◎

ストレスが過度であると感じている人の割合が増加しています。自殺予防ゲートキーパー研修参加延べ人数は、目標を大幅に超えました。

【重点4】タバコ対策

指 標		策定時の値	直近値	目標値	評価
喫煙している人の割合(%)	男性	31.9	23.4	25.4	◎
	女性	7.1	7.2	5.3	△
喫煙マナーを守る人の割合(%)	周囲に人がいる場所で吸わない人の割合	36.3	51.7	40.0	◎
	路上(歩行)喫煙率	2.17	0.79	減少	○
終日全面禁煙を行っている施設の認定数		64	194	180	◎

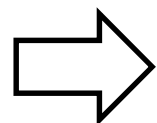
男性の喫煙率は減少し、目標を達成しましたが、女性は横ばい傾向です。喫煙マナーの向上が進んでいます。

【重点5】歯と口の健康づくり対策

指 標		策定時の値	直近値	目標値	評価
12歳児(中1)の永久歯1人平均う 歯数(本)		0.82	0.50	0.26	○
小学生でフッ化物塗布・洗口を受 けたことのある子の割合(%)		66.1	69.9	74.2	○
進行した歯周疾患また は重度歯周疾患に罹患 している人の割合(%)	40歳	33.6	37.3	1割以上 減少	△
	50歳	47.1	42.1		◎
	60歳	54.3	52.2		○
歯周疾患検診受診率(%)		7.3	8.2	9.7以上	○
70歳で自分の歯を22本以上有す る人の割合(%)		73.1	78.6	79.1以上	◎

子供の平均う歯(むし歯)数は減ってきています。40歳以降の壮年期層における歯周疾患対策が課題です。

今後の方向性



健康寿命の更なる延伸を目指す！

生活習慣の改善、疾病の発症予防
・重症化予防の徹底

+

健康を支え、守るための社会環境
の整備

【現行計画の重点施策】

生活習慣病予防対策

子供の頃からの健全な食生活及び運動
習慣の定着化を図る取組の推進

がん対策

女性特有のがん検診及び働き盛り世代
のがん検診の受診率向上対策の強化

こころの健康づくり対策

自殺予防に関する総合的な対策及び適切
なストレス対処法の普及・啓発の推進

タバコ対策

禁煙の動機づけ支援及び受動喫煙防止
対策の強化

歯と口の健康づくり対策

歯周疾患予防のための口腔ケアに関する
正しい知識の普及・啓発の推進

第2次長野市食育推進計画(H25～H28)

最終評価



■実践目標の達成状況

実践目標1	策定時の値	直近値	目標値	評価
食育に関心を持っている人の割合(%)	84.1	86.0	90	○

実践目標2			策定時の値	直近値	目標値	評価
朝食を欠食する人の割合(%)	3～6歳	男	2.6	3.0	0	△
		女	4.8	3.6	0	○
	7～15歳	男	10.0	8.0	0	○
		女	7.8	12.6	0	△
	16～24歳	女	24.2	15.5	15.0	◎
	25～39歳	男	24.0	37.7	15.0	△

食育に関心を持っている人の割合は、目標値の90%に近づきました。「朝食を欠食する若い世代の割合」を減少させていくことが課題です。

実践目標 3		策定時の値	直近値	目標値	評価
1週間に6回以上家族や友人と一緒に食事をする人の割合(%)	朝食	63.1	56.6	70.0	△
	夕食	76.7	66.5	80.0	△
「いただきます」などのあいさつをする人の割合(%)		72.0	68.7	80.0	△

実践目標 4		策定時の値	直近値	目標値	評価
みんなで食事作りや後片付けをする人の割合(%)		35.0	30.0	40.0	△

様々な家庭の状況や生活の多様化により、「共食」の機会が減ってきています。子供の頃から食べ物大切さや感謝の気持ちを育てていく必要があります。

実践目標 5		策定時の値	直近値	目標値	評価
肥満やや せの人の 割合(%)	標準体重の+20%以上 13～15歳	7.7	8.4	7.0	△
	BMI25.0以上 40～64歳 男	33.5	32.2	15.0	○
	BMI18.5未満 25～39歳 女	23.4	19.6	15.0	○

実践目標 6		策定時の値	直近値	目標値	評価
食事バランス等に配慮した食生活を送っている人の割合(%)		36.7	64.6	60.0	◎
朝食、昼食に野菜を 食べている人の割合 (%)	朝食	49.9	73.6	70.0	◎
	昼食 25～39歳	59.4	77.7	70.0	◎

適正体重の維持や栄養バランスのとれた食事の実践は、生活習慣病の発症・重症化を予防し、健康寿命を延伸する健康づくりの観点からも重要であり、引き続き、啓発等に取り組む必要があります。

実践目標 7			策定時の値	直近値	目標値	評価
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の人の割合(%)	40～74歳	男	44.0	43.6	33.0	○
		女	16.0	15.5	12.0	○
1日の平均歩数(歩)	40～64歳	男	7,904	7,550	9,000	△
		女	8,443	7,417	8,500	△
週1回以上スポーツ活動を行っている成人の割合(%)			51.8	56.1	69.6	○

40～64歳の1日の平均歩数が減少しました。生活習慣病やメタボリックシンドロームを予防するためには、食生活の改善のみならず、運動・スポーツの習慣化が大切となります。

実践目標 8		策定時の値	直近値	目標値	評価
公立保育園における地元農畜産物を使用する割合(%)	野菜 果物	27.7	27.3	30.0	△
学校給食における地元農畜産業を使用する割合(%)	野菜	30.7	34.8	33.0	◎
	果物	37.4	33.0	40.0	△
実践目標 9		策定時の値	直近値	目標値	評価
地産地消協力店の増加 (店舗数)		112	135	150	○

地元農畜産物を通じて、地域の自然や文化、産業等に対する理解を深め、生産者への感謝の気持ちや「食」の大切さを育む観点から、引き続き、地元農畜産物の利用促進が求められます。

実践目標 10	策定時の値	直近値	目標値	評価
食生活改善推進員による 講習会の開催(回)	42 (1,378人)	30 (833人)	46 (1,500人)	△
農村女性ネットワークによる 郷土食料理講習会の開催(回)	10 (166人)	8 (159人)	10 (200人)	△
働く女性の家等における 郷土食料理講習会の開催 (回)	14 (370人)	12 (289人)	15 (450人)	△
公民館等における郷土食 講習会の開催(回)	80 (1,427人)	106 (2,289人)	90 (1,600人)	◎

地域に根ざし、住民の身近で日々活動に関わるボランティアの取組は不可欠であり、食育に係る様々な団体との連携・協働による取組を推進する必要があります。

実践目標 11	策定時の値	直近値	目標値	評価
食の安全・安心に関する研修会開催(回)	90 (4,789人)	83 (3,703人)	90 (5,300人)	△

実践目標 12	策定時の値	直近値	目標値	評価
生ごみ自家処理実践講座の開催(回)	63 (1,304人)	51 (1,038人)	71 (1,550人)	△

食品の安全性に係る基礎的な知識を持ち、自ら判断することの重要性や生ごみ等再生利用及び食品ロス削減の大切さについて、更なる啓発を推進していく取組が必要です。

■ 今後の方向性

健康の保持・増進と食育の推進は共通する分野の取組が多いことから、**健康増進計画をベースに、一体的に計画を策定し、具体的な取組を推進する**

基本的な方向と取組

健康寿命の延伸につながる食育の推進

+

若い世代を中心とした食育の推進

+

地域や学校等における食育の推進

- ・生活習慣病の予防、栄養表示の普及啓発等
- ・栄養バランスに配慮した食生活実践の支援

- ・若い世代に対する効果的な情報提供
- ・早寝、早起き、朝ごはん運動の推進
- ・家族や友人等との共食をする機会の推進

- ・地域の食文化や郷土食の継承促進
- ・地元農作物の利用促進(地産地消の推進)
- ・食品廃棄の削減を目指した市民運動の展開

子供から高齢者までの生涯を通じた食育の推進

第3次長野市健康増進計画・食育推進計画の構成(素案)

